

阿蘇くじゅう国立公園

阿蘇とくじゅうの水

海拔が高い上に海に近いという独特の地形的立地により、阿蘇の草原には日本の年間平均雨量の2倍を超える大量の雨が降ります。雨が降ると広大な草原地帯を覆う草の葉が水の流れを穏やかにするため、水はミネラル分を多く含む火山性の大地に染み込みます。こうして水は自然にできた地下の「水がめ」に集められ北九州を潤す河川へと運ばれます。6つの第一級河川を含むこれら河川が500万人を超える一帯の人々の生活水や農業水となっています。この地域は九州の水がめとして知られています。

崖下や丘陵の麓などでは地下水レベルが地表より上になり、そこは清浄な水が湧き出る自然の泉となります。広大な低地帯には水が流れ込み、多様な希少植物や動物を育む数多くの湿原が形成されます。これがユネスコ世界ジオパークに選ばれた要因となりました。また、阿蘇一帯には多くの温泉街が点在します。温泉は大昔から地域の人々の日常生活の一部となっています。多くの観光客がこの土地を訪れ火山が生んだ温泉に浸り、この一帯に経済効果をもたらしています。